

#### 4 . 工事間利用時の費用・作業分担等

Q 1 : 土質試験費や有害物質試験費、運搬費は、搬出側、搬入側のどちらで負担するのか。

A 1 : 土質試験や有害物質試験等、工事間利用に伴う作業等の分担及びその費用負担については、搬出工事、搬入工事双方の協議により取り決めることが一般的です。協議結果等については、「協定書」などの文書で確認するようして下さい。協定書の項目等は運用マニュアル(案)に掲載してありますので参考にして下さい。

Q 2 : 都市部などで、騒音などの住民対応が必要な工事では、土砂の運搬はどのようにすれば良いのか。

A 2 : どちらの工事のトラックで土砂を運搬するのかといった諸条件や、運搬する際の留意点などについては、双方において確認や調整をお願いします。

Q 3 : 官民マッチングを利用することで、土砂の処分費や購入費が当初の想定よりも安価となった場合、誰のコストメリットとなるのか。

A 3 : 公共工事では、官民マッチングにより搬出先、調達先が発注時から変更になった場合には、設計変更の対象となる旨、仕様書等に明記されていますので、発注者と協議する必要があります。

民間工事では、建設発生土の搬出先は「自由処分」が多く、「自由処分」の場合は設計変更しないと思われれます。ただし、発注者によっては協議による場合もあるようですので、発注者にご確認下さい。